

平成27年度
事業報告書
収支決算書
(本会計・資料整備統一会計)
残高証明書
監査報告書

公益財団法人 有隣会

公益財団法人 有隣会 平成27年度 事業報告書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当財団は、平成27年4月1日に公益財団法人に移行し、一層広く社会に大原孫三郎・総一郎及び大原家の精神、理念を伝えていくべく、以下の活動を行なった。

1. 第60回大原孫三郎・総一郎記念講演会の開催

日 時：平成27年7月28日（火）18：30～20：00

場 所：倉敷公民館大ホール

講 師：公益財団法人 サントリー文化財団 特別顧問 山 崎 正 和 氏

テーマ：装飾としての藝術と認識としての藝術

聴講者：約200名

聴講料：無料

その他：講演をDVDにし、関係者に配布した。

2. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・総一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を進め、年度末には約1万5千件の目録を整備した。また、岡山県及び倉敷市がマイクロフィルムに撮影した大原家文書をデジタル化し、明治15年以前の目録については公開を始めている。

3. 第4回大原孫三郎・総一郎研究会の開催

日 時：平成27年11月28日（土）13：00～17：30

場 所：倉敷公民館 大ホール 第3会議室（企画展）他

目 的：大原孫三郎・総一郎及び大原家に関する研究者に研究発表の場を提供する

ことにより研究者の育成と層の充実を図り、もって広く社会へ大原孫三郎・総一郎及び大原家の精神を伝えてゆく。

聴講者：約140名

聴講料：無料

研究発表

<一般の部> 13：00～

1) 山根 樹生 氏（有鄰庵）

「倉敷の暮らしを世界へ」

2) 黒川 康德 氏

「大原孫三郎と山川均の当事者意識の差異について」

3) 山下 亨 氏 (くらしき作陽大学事務局 参与)

「大原家の生き方から国際都市倉敷発展のヒントを学ぶ」

4) 三村 聡 氏 (岡山大学地域総合研究センター 副センター長・教授)

「大原社会問題研究所の心」

5) 辻野 純徳 氏 (㈲ユー・アール設計 相談役)

「大原孫三郎と民藝運動その2 - 武内潔真日記を中心に -」

(昭和15年倉敷民藝館企画まで - 總一郎や民芸同人の関わり -)

司会進行

安井 昭夫 代表理事 (当時)

< 学術研究の部 > 15 : 40 ~

1) 後藤 正志 氏 (其樂堂)

「児島虎次郎と其樂堂」

2) 橋本 美由紀 氏 (法政大学大原社会問題研究所 兼任研究員)

「岡山県の家族介護者の介護時間と生活時間

- 大原孫三郎の病院創設への思いと現在、医療福祉相談室の資料分析をふまえて -」

3) 菊池 義昭 氏 (東日本国際大学 教授)

「大正期の岡山孤児院での大原孫三郎理事の2年目の経営とその実践内容」

コーディネーター・司会進行・講評

時任 英人 氏 (倉敷芸術科学大学 教授)

交流・懇親会

研究発表終了後、倉敷アイビースクエアにおいて46名が参加して開催した。

その他

研究会基調講演、研究発表をDVDにし、関係者に配布した。

4. 大原總一郎日記研究会

国士舘大学教授阿部武司氏を中心とする総勢7名の研究者グループにより、大原總一郎日記(全110冊)の研究を開始した。本年度は、5月より3月までの間に計9回の研究会を開催し、日記の解読を進めた。次年度も継続して研究を進めていく計画となっている。

当該活動のため科研費申請を検討中で、当財団(研究部)が科研費研究機関として指

定された。

5. 広報活動

当会紹介のホームページにより広く社会へ情報を提供するとともに研究者の利便に供した。また、大原孫三郎・總一郎研究会の一環として当会紹介及び関係書籍などの展示を行った。

6. 大原孫三郎・總一郎研究(紀要)制作について

第1回・第2回大原孫三郎・總一郎研究会で発表された研究を世に広く認知させる目的で紀要の発刊を計画、足掛け3年の間に多くの方々のご協力、ご助言を得て、平成27年10月27日に「大原孫三郎・總一郎研究」創刊号を発刊した。

印刷部数1000冊、ISSN番号(2189-5279)、国立国会図書館にも収蔵された。この紀要発行にあたって制作費の一部は、公益財団法人サントリー文化財団の助成金を活用させていただいた。

内 容 :

- 論文 「江戸時代の大原家」 山本太郎
「大正期の岡山孤児院の大原孫三郎理事の経営手法とその思想」 菊池義昭
特別寄稿 「日本経済・経営史上の思想・実践の確認」 兼田麗子
研究ノート 「孫三郎が蒐集した書籍に関する一考察」 相田俊夫・柴田洋子
史料紹介 「大原總一郎『資本並に分配の社会化えの試案』を読んで」 猪木武徳
「大原家の出世証文」 水島博
「倉敷日曜講演に関する名士書簡」 林良子
再録 「資本並に分配の社会化えの試案」 大原總一郎

7. 学習院生涯学習センター・岡山県連携講座での講義

学習院生涯学習センターの協力を得て岡山県の歴史や文化を紹介する地域学講座を開催している岡山県東京事務所からの講師依頼に基づき、当財団の大原謙一郎評議員会議長(公益財団法人大原美術館理事長)が平成27年12月5日(土)に同センターにおいて「倉敷にはメッセージが充ちている」のタイトルで講義を行なった。

8. その他

その他継続事業としては、大原ネットワーク及び他団体との連携を密にし、当会の運

営の参考となる情報・資料の収集や提供、並びに調査・研究を進めた。

また、大原家の歴史的事実を正確に理解且つ消化し、それを現代の言葉で伝え、発信することにより、郷土倉敷の永続的な発展と次世代の成長を願いながら大原家の思いと活動を次世代へとつなげていくことを目的として、大原記念館（仮称）事業の検討を始めている。

なお、一昨年開催した「大原孫三郎 読書会」参加者と合同で、倉敷芸術科学大学の授業「倉敷と大原（1コマ90分*3クラス）」を行い、林研究員が参加した。

以 上

公益財団法人有隣会 平成27年度決算書

H. 28. 3. 31

A. 基本財産

単位:円

基本財産(中国銀行倉敷駅前支店定期預金)	3,000,000
----------------------	-----------

B. 決算総括表

1. 収入の部

単位:円

前年度からの繰越金	10,926,772
本年度収入	3,828,881
会費	3,590,000
寄付金	0
雑収入	138,881
繰入金	0
総合計	14,755,653

2. 支出の部

本年度支出	7,156,450
事業費	5,425,009
管理費	1,731,441
繰出金	0
総合計	7,156,450

3. 差引繰越金

	合計
差引繰越金	7,599,203

公益財団法人 有隣会 平成 27年度 会計収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部

単位:円

款	項	予算額	決算額	比較増減	備考
会費		3,640,000	3,590,000	-50,000	
	特別会費	3,000,000	3,000,000	0	
	普通会費	250,000	200,000	-50,000	
	賛助会費	390,000	390,000	0	
繰入金		1,000,000	0	-1,000,000	
	繰入金	1,000,000	0	-1,000,000	
寄付金		1,000	0	-1,000	
	寄付金	1,000	0	-1,000	
雑収入		100,000	238,881	138,881	
	雑収入	100,000	238,881	138,881	
繰越金		11,229,000	10,926,772	-302,228	
	繰越金	11,229,000	10,926,772	-302,228	
合計		15,970,000	14,755,653	-214,347	

支出の部

単位:円

款	項	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費		9,700,000	5,425,009	-4,274,991	
	謝金等	1,100,000	389,797	-710,203	
	旅費等	800,000	321,184	-478,816	
	会場関係費	300,000	181,342	-118,658	
	接遇費	550,000	455,731	-94,269	
	印刷費	2,500,000	1,688,783	-811,217	
	広報費	500,000	440,080	-59,920	
	調査費	2,750,000	1,840,427	-909,573	
	調査員経費	1,000,000	0		
	その他事業費	200,000	107,665	-92,335	
管理費		1,650,000	1,731,441	81,441	
	会議費	250,000	25,463	-224,537	
	消耗品費	600,000	137,314	-462,686	
	通信費	550,000	445,304	-104,696	
	雑費	250,000	1,123,360	873,360	
予備費		3,620,000	0	-3,620,000	
	予備費	3,620,000	0	-3,620,000	
繰出金		1,000,000	0	-1,000,000	
	繰出金	1,000,000	0	-1,000,000	
合計		15,970,000	7,156,450	-8,813,550	

収入総額 14,755,653 円

支出総額 7,156,450 円

差引余剰金額 7,599,203 円(平成28年度へ繰越)

正味財産増減計算書
平成 27年 4月 1日から平成 28年 3月 31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
I. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,831	0	2,831
受取会費			0
特別会費	3,000,000	3,000,000	0
普通会費	200,000	250,000	▲ 50,000
賛助会費	390,000	390,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取助成金	0	0	0
雑収益			
雑収益	236,050	1,166,445	▲ 930,395
経常収益計	3,828,881	4,806,445	▲ 977,564
(2) 経常費用			
事業費			
諸謝金	389,797	444,344	▲ 54,547
旅費交通費	321,184	170,254	150,930
通信運搬費	0	177,758	▲ 177,758
委託費	0	0	0
印刷製本費	1,688,783	1,093,004	595,779
賃借料	78,742	0	78,742
会議費	455,731	579,833	▲ 124,102
広報費	440,080	397,544	42,536
調査費	1,840,427	390,640	1,449,787
消耗品費	0	135,000	▲ 135,000
雑費	210,265	48,470	161,795
管理費			
会議費	25,463	78,616	▲ 53,153
通信運搬費	445,304	243,119	202,185
消耗品費	137,314	58,586	78,728
租税公課	3,787	10,480	▲ 6,693
雑費	1,119,573	152,658	966,915
経常費用計	7,156,450	3,980,306	3,176,144
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 3,327,569	826,139	▲ 4,153,708
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 3,327,569	826,139	▲ 4,153,708
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 3,327,569	826,139	▲ 4,153,708
一般正味財産期首残高	10,926,772	10,100,633	826,139
一般正味財産期末残高	7,599,203	10,926,772	▲ 3,327,569
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	10,599,203	13,926,772	▲ 3,327,569

貸 借 対 照 表

平成 28 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,599,203	10,926,772	▲ 3,327,569
流動資産合計	7,599,203	10,926,772	▲ 3,327,569
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	10,599,203	13,926,772	▲ 3,327,569
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	7,599,203	10,926,772	▲ 3,327,569
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	10,599,203	13,926,772	▲ 3,327,569
負債及び正味財産合計	10,599,203	13,926,772	▲ 3,327,569

財 産 目 録
平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 中国銀行倉敷本町出張所	運転資金として	7,599,203
流動資産合計				7,599,203
(固定資産)	預金	定期預金 中国銀行倉敷本町出張所	運用益を財源として使用している	3,000,000
基本財産				
特定資産				
その他固定資産				
固定資産合計				3,000,000
資産合計				10,599,203
(流動負債)				
流動負債合計				0
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産				10,599,203

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直説法により減価償却を行っている場合)

該当なし。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

- 1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし。
- 1 2. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。
- 1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし。
- 1 4. 関連当事者との取引の内容
該当なし。
- 1 5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。
- 1 6. 重要な後発事象
該当なし。
- 1 7. その他
該当なし。

監査報告書

平成28年4月27日

公益財団法人有隣会

代表理事 和久井 康明 様

公益財団法人有隣会

監事 井上 信二

監事 秋宗 幸博

私たちは、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における会計及び業務監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事からの業務の報告を聴取するなどにより、業務の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為または、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。